

# Elazzo

---

## SEAT COVER



**TOYOTA**  
**PRIUS PHV**

専用シートカバー取付説明書

# Elazzio

## SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

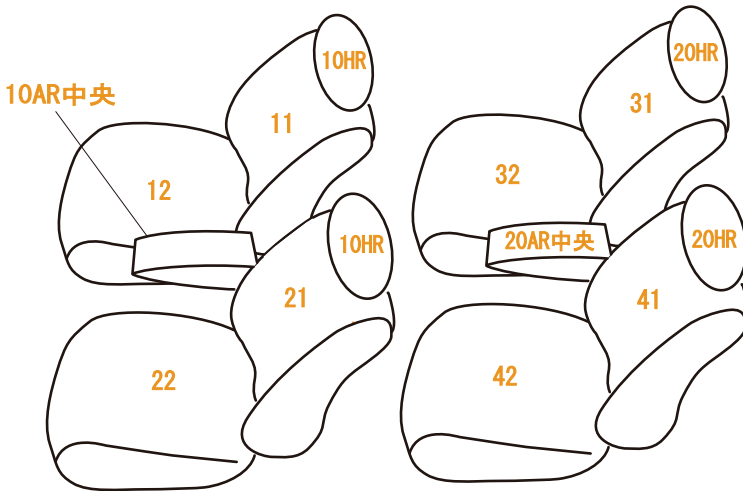
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~6P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 7P~9P
2 列目座面装着方法	…> 10P~12P
2 列目背もたれの装着方法	…> 13P~16P
ヘッドレストの装着方法	…> 17P~18P
1 列目アームレストの装着方法	…> 19P~20P
2 列目アームレストの装着方法	…> 21P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 22P~23P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (14mm)
- ② クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

## Step 1

## 1 列目運転席座面の装着方法



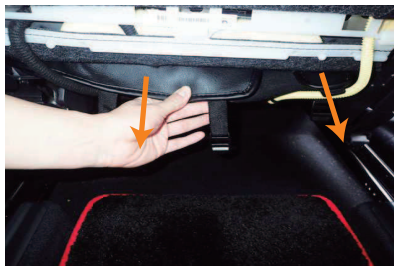
- 1** カバーを取り付ける前に、シート背面の生地を外します。  
シート底面にゴムで引っ掛けて固定されているので、ゴムの固定をほどき、図のように生地を外します。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。  
シートを前方へ倒しておくと、生地が入り込みやすく、スムーズに作業が出来ます。



- 2** シートのラインに合わせてカバーを前から後ろへかぶせます。



- 5** 配線に注意しながら4番で入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 3** カバー内側には図のように加工穴が開いているので、シートベルトのバックルを加工穴に通します。

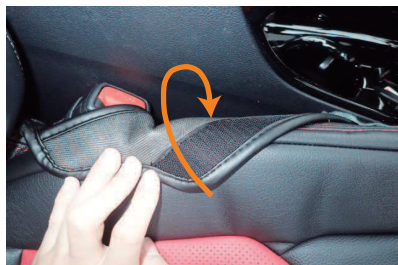


- 6** カバーの前側のベルトをシートの背面へ回します。この際ベルトはシートのスライドレバーの上を通して、配線に注意しながら背面へ回して下さい。





- 7** 6番で背面に回したベルトを5番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 10** カバー内側面のマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。隙間が狭いので、シートの位置を調節して入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 8** ベルトは①～③の順番でバックルに通して引き、カバーの前後を固定します。ベルトは強く引き過ぎると生地が裂けたり、カバーの表面が浮いてしまうので適度に調節して下さい。



- 11** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に装着を行います。



- 9** 外側面の固定用部材をヘラ等を使用してシートのプラスチックの中へ入れ込みます。固定用部材が見えなくなるまでしっかりと奥まで入れ込んで下さい。

## Step 2

## 1 列目運転席背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1 カバー両側面のファスナーを開いてシートにかぶせます。5ページ1番で外した生地をめぐり上げて、カバーの中へ入れ込みます。



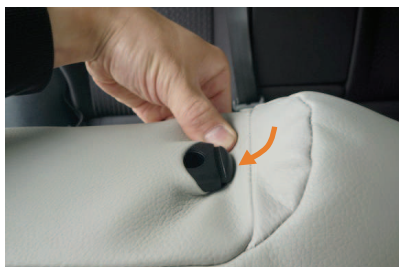
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートを前方へ倒しておくと、生地が入れ込みやすく、スムーズに作業が出来ます。



- 2 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。この際、カバーの先端が張るまでしっかりとかぶせて下さい。



- 5 生地の両端に付いているマジックテープをシートの隙間が広い中央部分から入れ込みます。この際、ねじれないように注意して入れ込んで下さい。背もたれを後ろへ倒した際に、マジックテープが見えなくなるまでしっかりと入れ込みます。



- 3 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から出します。台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。  
※本革を使用したカバーは革自体が伸びない為、加工穴が破れる恐れがありますが台座に隠れる範囲であれば問題ありません。



- 6 4番で入れ込んだ生地を引き出します。この際、シートの配線に注意して、生地を引き出して下さい。



- 7** 5番で入れ込んだ魔术テープを引き出します。魔术テープは配線の外側に来るように中央部分から端へすらし、引き出して下さい。魔术テープ部分は強く引き過ぎると生地が破れたり、縫製糸が切れるので、慎重に作業を行って下さい。



- 8** 図の①～③の手順でシートにカバーを馴染ませます。①シートラインに沿わせる様に生地を流します。②余った生地を中心へ寄せます。③寄せた生地を下へ流して6番と同様に背面から引き出します。全体的にたるみや浮きがなくなるまでこの作業を繰り返して行って下さい。



- 9** 側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 10** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 11** シート背面下部と、6番で引き出した生地を魔术テープで固定します。

**⚠ 注意 ⚠**

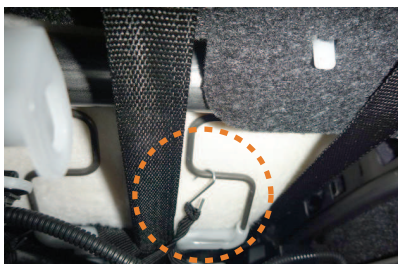
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



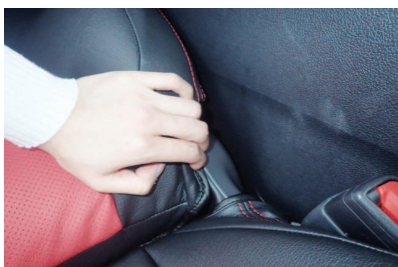
- 12** 7番で引き出した魔术テープも11番と同様にカバーの背面下部の魔术テープと固定します。



- 13** カバー背面下のゴムに付属の金属フックを取り付けて、シートの底面に引っ掛けて固定します。



- 14** シートの底面には図のように金属部分がいくつかあるので、その部分にゴムが届く範囲で引っ掛けて固定をします。



- 15** カバーの側面下の生地を入れ込みます。



- 16** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。  
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。  
助手席も同様に取り付けます。

## Step 3

## 2列目座面の装着方法

2列目座面シートは車体からシートを外してカバーの装着を行います。座面シートを外すにはかなり力を入れてシートを持ち上げる必要があります。怪我等をされないようご注意ください。



- 1** シートと土台の隙間から手を入れて、フックの位置を確認します。フックは正面の中央に1箇所、ドア側の中央辺りに1箇所あります。かなり固く固定されているのでフックのすぐ横に手を入れて真上に持ち上げて外します。



- 2** フックの固定は真上にしっかりとシートを持ち上げて外します。シート裏のフックのすぐ横に手を添えて、片側ずつ持ち上げます。誤った位置を持ってシートを持ち上げると、シートのクッションのみがめくれるようになるので、ご注意ください。



- 3** フック2か所の固定を外してシートを手前に引くと、図のように車体からシートが外れます。



- 4** 車体から外したシートは、車外の作業ができるスペースに運び出します。カバーをかぶせます。カバー裏に付いているベルト2本を、チャイルドシート固定用についているシートの穴に通します。



- 5** シートの付け根のフックにカバーの切り込み穴を通します。



- 6** シート付け根の側面の形状に、カバーを添わせるようにして馴染ませます。



- 7** シート全体にカバーをかぶせます。シートのラインを整えながらかぶせて下さい。



- 10** シートを裏返してカバーのラインを整えます。シートベルト収納部の生地は、車体にシートを戻すまではそのままの状態しておきます。シートは背もたれカバー装着後車体へ固定します。



- 8** シートを裏返して、マジックテープの付いた生地を、直接シートに貼り付けて固定します。



- 11** 背もたれカバー装着後、座面シートを戻す前に確認して下さい。図は背もたれシートの真下です。図の突起部分に座面シート付け根のフックを引っ掛けます。



- 9** シートの裏でカバー前後のベルトを固定します。ベルトの固定方法は6ページ**8番**をご覧ください。



- 12** 図では**11番**の突起は見えませんが、シートを斜めに差し込むようにすると自然にフックが掛かります。10ページ**1番2番**で外したフックの位置を合わせて、シートを真上から押して固定します。



- 13** カバーの加工穴からシートベルトバックルを確認します。  
純正のシート表皮がシートベルトバックルの上に覆いかぶさっていると、次の**14番**の作業で生地が入り込みません。その場合は再度シートを取り付け直して下さい。



- 14** シートベルトバックルの収納部のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 15** シートベルトバックルの周りは、図のように収まります。



- 16** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。  
助手席側も同様に取り付けます。

## Step 4

## 2列目背もたれの装着方法

説明書の写真と製品では一部仕様が異なりますが取り付け方法は同様です。

### 運転席側



- 1** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 2** シート内側の肩口に、カバーを引っ掛けるようにかぶせます。



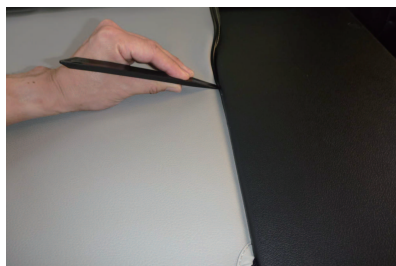
- 3** ヘッドレストの台座を取り出します。革を使用しているカバーでは生地が伸びないため、作業は慎重に行ってください。



- 4** リクライニングレバーのフチに生地を入れ込みます。レバーのフチは隙間が大変狭いため、作業は慎重に行ってください。無理に力を入れると、フチのプラスチックパーツのツメを破損する恐れがありますので、ご注意ください。



- 5** 生地を全て入れ込むと図のように収まります。



- 6** シートを前に倒して、中央のプラスチック部の隙間に、端に部材の付いた生地を入れ込みます。こちらも隙間が狭いため、ヘラなどを先に差し込み、隙間に入る角度を確認してから作業を行うようにして下さい。部材を縫い付けている縫い目をヘラなどで押すと、縫製糸が切れる場合があります。ご注意ください。

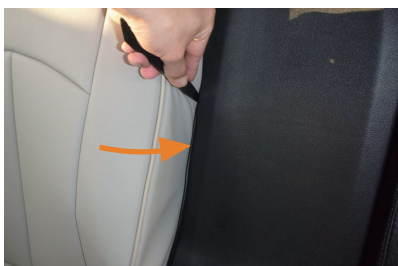




**7** 生地を全て入れ込むと図のようになります。



**10** 2列目中央のプラスチック部の下にもカバーをかぶせていきます。助手席側のシートとの隙間に生地を引っ掛けるように入れ込みます。



**8** シートを起こしてシート内側の生地をプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラなどで奥へ押し込み、プラスチック部の裏側に部材を入れこむようにするとしっかり固定されます。



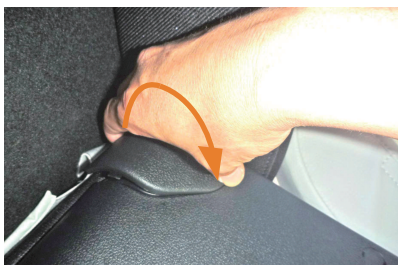
**11** シートの下から生地をシート背面へ入れ込みます。



**9** 下側のプラスチック部の角にも生地をしっかりと入れ込みます。



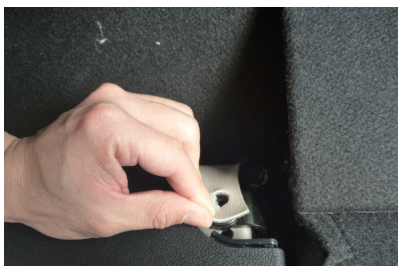
**12** シートを前に倒して、シート背面から生地を引き出します。



- 13** シート中央の奥に、図のプラスチックカバーがあります。プラスチックカバーを手でしっかりと掴み、矢印の方向に後ろ側から前側に返すようにするとカバーのツメが外れて、カバーが外れます。



- 14** プラスチックカバーを外すと、中にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



- 15** ボルトを外した位置に14ページ12番で引き出した、先端に切り込みのある生地を合わせます。



- 16** 生地を挟み込みボルトを元通りに固定します。この際、生地が破れてしまうと固定が出来なくなるので、作業は慎重に行ってください。ボルトを固定して13番で外したプラスチックカバーを元通りに固定します。プラスチックカバーのツメの位置に、生地が掛かっていると固定ができないため、その場合は生地をツメの位置に掛からないようにずらして、固定して下さい。



- 17** 14ページ12番で引き出した生地とカバー背面下の生地を、マジックテープで固定します。



- 18** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。

## 助手席側



- 19** カバー内側面のファスナーを開いた状態でシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 22** カバー内側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 20** 13ページ3番～5番同様に、ヘッドレストの台座、リクライニングレバーを取り出します。



- 23** 21番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 21** シートの下から生地を入れ込み、背面から引き出します。



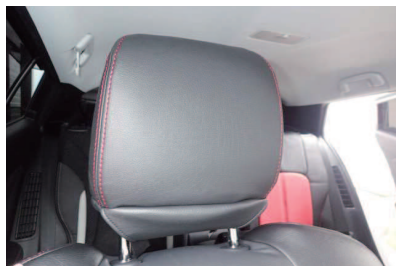
- 24** カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

## Step 5

## ヘッドレストの装着方法



- 1** カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 2** ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 4** ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5** ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。

## 2列目ヘッドレスト装着方法



- 7** 2列目ヘッドレストは図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



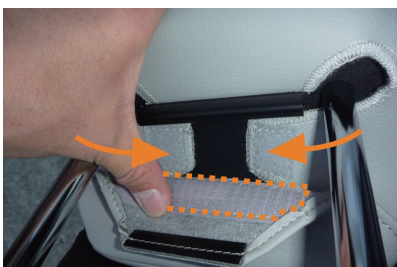
- 10** 2列目ヘッドレストの裏は図のようになります。2列目ヘッドレストはカバーをかぶせやすくするために、軸周りの穴を大きめに開けています。



- 8** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 9** ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定して、1列目同様にブラックを固定します。

## Step 6

# 1 列目アームレストの装着方法



- 1** カバーの前後を確認めます。図の点線のカーブの部分が短い方が前になります。



- 4** アームレストのフタを開けて入れ込んだ生地を引き出します。



- 2** アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。



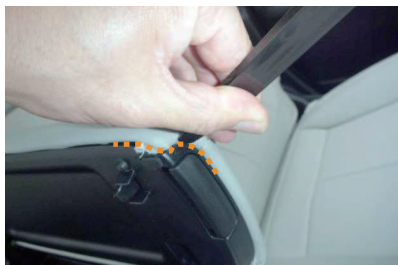
- 5** ここからはひたすらフチに生地を入れ込んでいきます。ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。アームレストのフタを開けた状態で作業をするので、破損させないように生地を入れ込む際は、フタ部分をしっかりと支えて作業を行って下さい。



- 3** アームレストの助手席側です。アームレストのフタを開けながら隙間に生地を入れ込みます。



- 6** アームレストの先端部分に生地を入れ込みます。生地が入れ込みづらい場合は、ヘラのみを隙間に入れ、生地の入る角度を確認してから生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



**7** アームレストの角は生地が重なり一番作業が大変になります。生地を入れ込みづらい場合は、ヘラなどを2本用意して、1本で隙間を広げるために差し込んだ状態にしてもう1本で生地を入れ込むと作業が行いやすくなります。



**8** 生地を入れ込んでいく際に、フタのツメが外れてしまう場合があります。ツメが外れた場合はフタを閉じて、上から押してツメを固定します。



**9** アームレストのフタ裏後ろ側です。図のように生地が収まります。



**10** アームレストのフタ裏側面です。図のように生地が収まります。



**11** アームレストのフタ裏前側です。図のように生地が収まります。



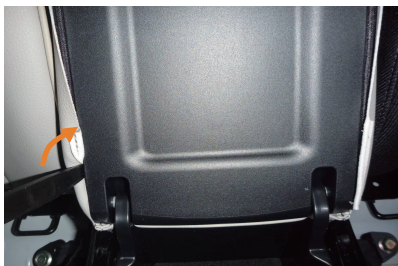
**12** カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

## Step 7

## 2列目アームレストの装着方法



- 1** カバーの前後を確かめます。カバーの端が山折りに縫われている方が、アームレストの付け根側です。アームレストの付け根の隙間から生地を入れ込み、カバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 2** アームレストのふたを開けて、軸の付近から生地をプラスチックカバーの隙間に入れていきます。隙間が大変狭くなっているので、作業は慎重に行ってください。**1**番で引っ掛けた部分の生地は隙間に入れ込みません。



- 3** アームレストの先端部分にも生地を入れ込みます。



- 4** 角の縫い目は生地の厚みが一番出る部分です。こちらは特に慎重に生地を入れ込んで下さい。



- 5** 全ての生地を入れ込むと図のようになります。



- 6** カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



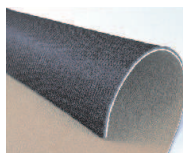


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

